



トキメキやヒラメキをカタチにする未来への扉がここにある。

何つくるん?



ツクルン由来…創作する場であることを示す「つくる」に、何かを誘う際に使う上州弁「～ん」を加えた造語が「tsukurun」です。県動画・放送スタジオ「tsulunოს」や県庁32階官民共創スペース「NETSUGEN」と語感や文字の並びを連動させています。

新しい価値を生み出す次世代のデジタルクリエイティブ人材を育成する拠点が「アクエル前橋」にオープン。県内の小・中学生、高校生を対象とした最先端の技術を体験できる全国初の施設です。

3DCG(3次元コンピューターグラフィックス)などのデジタル技術を駆使しながら、自分の思いをカタチにする技術、楽しさ、達成感が、子どもたちの将来の可能性を広げていきます。



①まずはイラスト作成。鉛筆を使って絵を描くように。

②3DCGに挑戦。色を変えたり、動かせたり。わくわく。



③仲間の作品を見てまねて学ぶ。1人じゃない、心強い。

④自分の思いが形になった達成感。自信につながる。



デジタル人材、なぜ必要?

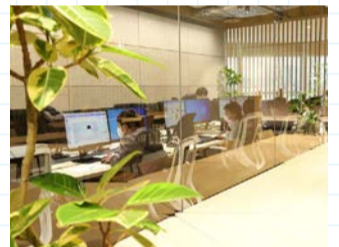
経済産業省の調査によると、今後IT関連市場の成長が一層見込まれることなどから、2030年に不足するIT人材は約40~80万人。特に、3DCGやVR(仮想現実)など最先端技術を駆使できる人材が不足するといわれています。

市場や産業構造が急速に変化する中、tsukurunではデジタル技術を持ち、新しい価値を生み出す人材の育成を目指しています。県では、ここで学んだ人たちが民間や行政など、県内のあらゆる産業の中で活躍し、県内経済をけん引していく未来を描いています。



可能性を広げる3DCG

3DCGは、ゲーム開発の他、アニメーションや医療・建築・自動車分野などでのシミュレーター用途にも利用されています。さまざまな分野において、クリエイターを支える技術として普及し続ける3DCGは、将来性の高いツールと言えます。デジタル技術はすぐに身に付くものではないからこそ、子どもの頃から触れることが大切です。



施設内を紹介

最先端のデジタルツールに触れて、学び、遊ぼう。

習うより慣れよう、学ぶより遊ぼう
メインルーム



ノートパソコンやタブレットを使って創作活動を楽しむ「メインルーム」は、洗練された落ち着いた空間です。大型モニターには子どもたちの作品を映し出し、みんなで見るすることができます。保護者の待機場所として利用することもできます。

プロの世界がここにある
さまざまな最先端技術



VR(仮想現実)



クロマキー撮影スタジオ



PC ROOM

プロ仕様の機材で本格的な創作活動を行う「PC ROOM」、背景と人物を合成する「クロマキー撮影スタジオ」を完備。またVR空間を楽しめる機器の他、3Dプリンターも設置しており、さまざまな最先端技術が体験できます。

思いがカタチに!



イラスト作成ソフト
クリップスタジオペイント
CLIP STUDIO PAINTで制作

前橋育英高校 3年 佐野明音さん



3DCG制作ソフト
ブレNDER
blenderで制作

高崎市立寺尾中学校 3年 宮島智宏さん

私たちスタッフは技術支援をしたり、制作の進捗を聞いたりすることで、子どもたちの思いを形にできるよう心掛けています。デジタル制作を楽しんでもらい、スタッフを信頼してもらえるよう、良い関係を作っていきたいですね。

tsukurunに来てくれたことが、子どもたちの未来を広げるきっかけになってくれたらうれしいです。初めての人もスタッフが親切にサポートします!安心して来てくださいね。



ティーチングスタッフ 滝澤尚貴さん
前橋市内のIT企業でシステム開発の経験を積み、現職ではゲームディレクターと小・中学生、高校生へのプログラミング講師を兼務。eスポーツへの造詣も深く、数々の大会で優勝している。